



第22回 農業を語るフェスティバル

北海道農業機械フェア

速報

HOKKAIDO FARM MACHINE FAIR IN KAMIFURANO 99

第22回北海道農業機械フェアが7月9、10日の2日間上富良野で行われた。この催しは「北海道土を考える会」(玉手博章会長)他の主催で毎年行われているが、今回の注目は外食業界の団体である(株)日本フードサービス協会(井上修一会長/株)ハングリータイガー代表取締役)と「食べる人のために」という理念を共有しての初の共催となったこと。これを受けて会場では、従来通りの農機の実演会、試乗会などのイベントに加え、農業経営者とフードサービス協会の代表をパ

ネラーとしたパネルディスカッションが開催され、活発な意見交換が行われた。またフォーラム後行われた名刺交換会でも一層交流を深め有意義な会となった(詳細は、次号にて掲載)。

(主催:「土を考える会」・(株)北海道農業機械工業会・北海道農業機械士協議会、共催:(株)日本フードサービス協会・ペリカンクラブ・(株)アレフ・(株)農業技術通信社、協賛:上富良野町・JA上富良野、後援:北海道・北海道農業開発公社・JA北海道中央会・ホクレン・北海道農作業安全運動推進本部・北海道有機農業研究協議会・(財)食料農商交流協会・NHK旭川放送局・博物館土の館他)



会場では各社いち押しの機械を展示



農業機械試乗会



関祐二氏の土壌分析セミナーも多くの人が集まり盛況だった



村井信仁氏の農業機械セミナーは相変わらず多くの人を引きつけた



農業フォーラムはまず倉本初夫氏の基調講演でスタートした



農業フォーラムでのパネルディスカッションでは活発な意見交換がなされた



野外名刺交換パーティーでの試食会



試食会の調理は(株)アレフが担当。前日から準備した料理は参加者にも好評



土の館内で開催されたインターネット研修会。名刺作成の実演も行われた